

お笑いタレント
問 寛平
沼津市長
頼重 秀一

きらり沼津。次の100年へ
〜挑戦の一步を踏み出す〜



広報ぬまづでは、毎年、一年の始まりに市長と沼津にゆかりの深い著名人や有識者が語り合う市長新春対談をお届けしています。
今年の対談には、市制100周年記念燦々ぬまづ大使を務めるお笑いタレントの間寛平さんをお迎えしました。

「誇り高い、元気なまち沼津」の実現に向けて挑戦する市長とお笑いの枠に収まらずマルチな活躍を続ける寛平さんに、次の100年の新たな一步を踏み出す年頭に、「挑戦すること」について語っていただきました。

ひらめきと挑戦が生んだ
ナイトマラソン

【市長】 明けましておめでとうございます。寛平師匠、今年もよろしくお願ひします。燦々ぬまづ大使には沼津にゆかりのある著名な人に就任していただき、様々な場面で沼津をPRしていただいております。師匠には、就任前から大使以上の働きをしていただき、感謝しております。

【寛平】 「寛平アメナイトマラソン in沼津」の開催に協力してもらって、沼津ラクーンよしもと劇場でもお世話になっているから、愛着ある沼津への恩返しですね。

【市長】 本当にありがとうございます。どうして沼津でナイトマラソンをなさろうと思ったんですか。

【寛平】 沼津は、まちの人は優しいし、食べ物も美味しいし、劇場でコントや



寛平アメナイトマラソン in沼津
今年で4回目のこのマラソンは、中央公園をスタートして、狩野川や千本浜など沼津の夜景を満喫しながら走る大会です。走るだけでなく、お笑いライブや高校生のパフォーマンス、地元のグルメなども堪能することができます。詳細は、裏表紙をご覧ください。

漫才をやっている若手芸人も沼津のことを気に入っているみたいですね。ある時タクシーの運転手さんに「沼津のまちが昔に比べると寂しいから、なんか盛り上がることはない？」って言われて、「沼津は夜景もええ感じやし、ナイトマラソンとかええんちゃうかな」ってひらめいたんですね。

【市長】 師匠のご提案はとても嬉しかったです。やったことがないからこそ挑戦だし、駿河湾に沈む夕日や香貫山の夜桜など沼津を楽しめる。「これは面白いぞ」と思いました。

【寛平】 僕もいいアイデアだなってびっくりしたわ(笑)。

【市長】 このマラソンは今年で4回目になりますね。師匠が沼津に来てくださるだけでも盛り上がるうえに、吉本の芸人さんも協力してくれて、毎年大きな話題になっています。

【寛平】 まちぐるみで盛り上げてくれ

るのは、市長がバツと動いてくれたのとそれに賛同してくれた皆さんのおかげですわ。中央公園をスタートにして、昨年は800人以上のランナーが参加してくれました。ほんまは千本浜公園をスタートにして3千人くらいに参加してほしいですよ。沼津ですつと続いている夏まつりも斬新なことを取り入れたら、もっと人が集まるんちゃう？

【市長】 そうですね。沼津夏まつり・狩野川花火大会は、30万人以上が集まるイベントでポテンシャルは間違いありません。今の形にとられずどんどん挑戦していきたいですね。

【市長】 師匠はこれまでに地球一周アースマラソンや246kmを走り抜くギ

リシャのスパルタスロンなどの過酷なレースに挑戦されてきましたが、その原動力はどこにあるんですか。

【寛平】 目立ちたいの！ほんまにただそれだけ。市長も、どんどん目立って「沼津市は頑張ってるぞ」ってまずは、市民の皆さんに知ってもらわね。沼津も他の都市よりも目立たなあかん。

【市長】 その通りなんです。都市間競争のなかで埋もれているわけにはいきません。

【寛平】 吉本にはいっぱい芸人がおって、それぞれバラエティ番組とかお笑い番組で活躍してる。僕だけちょっと外れて、お笑いもやるし、マラソンみたいな分野もやるんです。だって、同じ土俵で戦っても負けちゃうから。

【市長】 なるほど、それが師匠の戦略なんですね。

【寛平】 自分の得意なことで勝負すれば、誰よりも目立ちますから(笑)。